



- ・日本福祉人財開発協会の今月の活動を抜粋して紹介しています
- ・お役立ち情報を掲載しています



代表理事が現地研修

今月の研修

今月は通所介護事業所様にて、当協会代表理事が「**優しい介護**」というお題で研修を行いました。優しい介護の意味は幅広く考えることができますが、今回の研修では横浜市が行っている「みんなにやさしい介護のプロを目指すプロジェクト」の紹介をしたり、フランスで考案された「ユマニチュード」について説明したり、協会が独自に作成した動画を見たりして勉強してもらいました。

職員の皆さまが、利用者様に対して、そして地域に対して「やさしい介護」を実践することで、施設や会社のイメージはアップしますし、職員さん自体のモチベーションを上がります。

「**職員が笑顔でなければ利用者様は笑顔になれない**」という当協会の方針の前提も「やさしい介護の実践」が基本です。

今月の相談

今月も多く相談を頂いております。今回は老人ホームの施設長M様から会社に対する相談として受付け、お話を聞いてきました。M様からは「職員が少なくなったのに、会社が新しい職員を入れてくれない」ということでした。

経営側の立場で言わせてもらおうと、確かにここ1年ほどで「応募しても問い合わせが来ない」という状況は続いています……。会社としても、求人を出すだけでなく、ホームページを見直したり、ブログやSNSを更新したりなどの改善も必要になります。当協会でもその支援を行っております。また、M様のように施設長さんや管理者さんに協力してほしいことは、新しく来てくれた職員さんが、居心地がよいような環境や雰囲気を作ってあげることが大切です。経営者様といっしょに、新しい職員さんが来てくれて定着してもらえるように努力してください、と伝えました。



お知らせ

- ① 愛知県令和6年度介護テクノロジー定着支援事業費補助金が発表されました。(9/24締切)
- ② 協会のクライアント様の障がい者グループホームに空きが出ています。入居希望の方がいましたらお知らせください。
- ③ 協会に対して「こんなことやってほしい」「こんなこと教えてほしい」などのご要望をお待ちしております。



日本福祉人財開発協会

日本福祉人財開発協会支援メニュー

楽々研修パック

法定研修や訓練、委員会を協会講師主導で行います。月に1回、約45分の内容で、Zoomや現地研修により、リアルタイムで実施します。人間スキル向上、職場風土の改善などを目的にしたセミナーも年間計画に入れることも可能です。

各種相談対応

福祉事業を行っている時、以下のような様々なお困りごとが経営者様や管理者様に襲い掛かってきます。当協会では、無料相談から始まり、事業者様の全てのお困りごとに対応できるサービスを提案しております。

経理・事務が煩雑で大変

利用者の請求書作成業務が大変

職員の離職率を下げたい

やるべき研修が多く実施・管理が大変

処遇改善の管理、計画、実績報告が面倒

実地指導対策ができていない

もっと加算を取りたい

事業運営におけるコンプライアンス維持が大変



風土改善をしたいができてない

経費削減をしたい

施設長・管理者の仕事が多すぎて休みがとれない

保険法改正などの情報がほしい

社長のルーチンワークが多すぎて大変

助成金・補助金を取得したいがやり方が分からない

日常記録がしっかりとできているか日々確認をしたい

SNS・ブログの更新ができていない

ホームページの修正ができてない

総務・人事・社員管理が大変

施設の食事の改善をしたい

事業所運営のToDo管理ができていない

お問合せ・お申込みはこちらまで ☎

